



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
コード番号 5852 URL <https://www.ahresty.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 成家 秀樹 TEL 03-6369-8660
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	38,403	1.1	101	△55.5	693	94.0	488	8.1
2024年3月期第1四半期	37,996	14.7	227	—	357	—	452	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,749百万円 (65.4%) 2024年3月期第1四半期 1,662百万円 (△25.1%)

(参考) EBITDA 2025年3月期第1四半期 2,922百万円 (△11.7%) 2024年3月期第1四半期 3,309百万円 (30.9%)

(※) EBITDA=営業損益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	19.50	19.38
2024年3月期第1四半期	17.44	17.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	136,903	54,023	39.4
2024年3月期	131,763	51,617	39.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 53,906百万円 2024年3月期 51,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	10.00	—	18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	77,000	△1.0	1,300	53.8	1,000	6.1	100	△800.0	3.90
通期	159,000	0.5	4,000	42.7	3,500	26.4	2,000	—	78.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	25,546,717株	2024年3月期	25,546,717株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	639,207株	2024年3月期	337,057株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	25,046,873株	2024年3月期1Q	25,911,898株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国中央銀行の金融引き締めが維持される中での金融資本市場の変動や物価上昇、高水準で推移する資源価格や原材料価格、また不安定な国際情勢の長期化や為替相場の変動等により、緩やかな減速基調が続きました。米国経済は、これまでの累積的な金融引締めの影響から24年後半にかけて労働市場や個人消費の減速が続く一方、巨大テック企業中心の増益、株高を通じた高所得層の消費堅調を支えに25年は緩やかな回復に転じる見通しとなっております。中国経済は、不動産部門の調整長期化や人口減、米中対立といった構造的な下押し要因が続き、成長率の鈍化が続く見通しとなっております。日本経済は、エネルギー価格や食料品の価格高騰による物価上昇により生活防衛意識が高まり、個人消費は弱い動きとなりましたが、高水準の企業収益と実質賃金の改善を背景に緩やかな回復が続く見通しとなっております。

このような経済状況の中、各国・地域の自動車会社向け販売量の変動に合わせた操業日数や人員体制等の機動的な調整、エネルギー価格上昇影響等の価格反映について継続的に取り組んでまいりましたが、原材料価格の高騰による調達コストの増加や日系自動車会社が現地メーカーとの競合激化等の影響を受けたことにより、営業損益は前年同期比減益となりました。経常損益と当期純損益については、主に円安進行による為替差益の計上により前年度同期比増益となりました。

当社グループでは、2022年度より2030年を目標年度とする長期経営計画である10年ビジネスプランと、その最初の3年間のマイルストーンとなる2224中期経営計画を推進しております。2224中期経営計画においては自動車の電動化の加速やカーボンニュートラルなどの外部環境変化を踏まえ、「低コストで生産性の高いものづくりの確立」「生産時のCO₂排出量の削減」「電動車向け部品中心の事業ポートフォリオへの転換」を戦略の柱に据えて、売上高の確保、生産性の向上、稼働力の強化に取り組んでおります。加えて昨年6月には10年ビジネスプランの財務戦略を策定し、公表済の収益目標に加え、自己資本比率40%、配当性向35%、設備投資1,400億円、ROE 9%達成を10年ビジネスプラン期間における4本柱の財務目標として掲げております。前連結会計年度は当期純損失となりましたが、基礎的収益力の回復基調は続いており、引き続き効率的な生産体制づくり、電動車部品に強い顧客との新規取引や取引拡大等の事業体質強化を継続して参ります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高38,403百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益101百万円（前年同四半期比55.5%減）、経常利益693百万円（前年同四半期比94.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益488百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場では、国内自動車生産の落ち込み等により受注量が大きく減少し、売上高は14,053百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。収益面においては、受注量の減少に対して原価率改善と販売費及び一般管理費の圧縮を推進しましたが、売上高の減少をカバーするまでには至らず、セグメント損失299百万円（前年同四半期はセグメント利益42百万円）となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場では、北米自動車生産が回復したことによる受注量の回復と為替相場の円安進行により、売上高は13,053百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。収益面においては、人件費等の製造コストの上昇が継続していること等により、セグメント利益298百万円（前年同四半期比26.4%減）となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

アジア自動車市場では、中国工場において主要顧客の販売不振により受注量が減少しましたが、インド工場において新規製品の量産が開始したことによる受注量の増加と為替相場の円安進行により、売上高は8,710百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。収益面においては、インド工場における一部製品の生産が安定しないことに伴うコスト高の影響がありましたが、中国工場における生産体制の合理化による固定費の削減、前期減損損失計上による減価償却費の減少等により、セグメント利益252百万円（前年同四半期はセグメント損失617百万円）となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、アルミ地金市況の上昇影響はあったものの、販売重量が前年同期比30.7%減となったことにより、売上高は1,699百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。収益面においては、販売重量の減少と原材料価格の高騰により、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比71.5%減）となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、前年同期と比較すると半導体関連企業の大規模な大型物件が減少したことにより、売上高は887百万円（前年同四半期比47.2%減）となりました。収益面においては、売上高の減少影響により、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比88.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は136,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,139百万円の増加となりました。流動資産は64,173百万円で、前連結会計年度末に比べ2,395百万円増加となり、その主な要因は、売上債権が1,187百万円減少した一方、現金及び預金が2,848百万円、棚卸資産が615百万円増加したことによるものです。固定資産は72,730百万円で、前連結会計年度末に比べ2,744百万円増加となり、その主な要因は、有形固定資産が2,544百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は82,879百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,733百万円の増加となりました。流動負債は61,320百万円で、前連結会計年度末に比べ1,578百万円増加となり、その主な要因は、仕入債務が1,277百万円減少した一方、短期借入金が1,598百万円、賞与引当金が403百万円、1年内返済予定の長期借入金が328百万円、その他に含まれる設備債務が323百万円増加したことによるものです。固定負債は21,559百万円で、前連結会計年度末に比べ1,155百万円増加となり、その主な要因は、長期借入金が1,122百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、54,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,406百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が362百万円、為替換算調整勘定が2,239百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末39.08%から当第1四半期連結会計期間末39.38%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、2024年5月17日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,323	15,172
受取手形、売掛金及び契約資産	28,243	※2 27,724
電子記録債権	4,015	3,347
商品及び製品	5,279	5,205
仕掛品	6,009	6,791
原材料及び貯蔵品	3,822	3,730
その他	2,193	2,320
貸倒引当金	△110	△119
流動資産合計	61,777	64,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,226	13,463
機械装置及び運搬具（純額）	30,908	31,179
土地	5,128	5,168
建設仮勘定	9,057	11,000
その他（純額）	5,517	5,569
有形固定資産合計	63,838	66,382
無形固定資産	1,571	1,573
投資その他の資産		
投資有価証券	1,541	1,538
その他	3,049	3,250
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,576	4,773
固定資産合計	69,985	72,730
資産合計	131,763	136,903
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,707	12,512
電子記録債務	9,422	8,339
短期借入金	15,638	17,236
1年内返済予定の長期借入金	9,895	10,224
未払法人税等	265	358
賞与引当金	1,506	1,910
製品保証引当金	206	205
その他	10,099	10,532
流動負債合計	59,741	61,320
固定負債		
長期借入金	14,990	16,112
長期未払金	107	103
退職給付に係る負債	3,034	3,040
その他	2,272	2,303
固定負債合計	20,404	21,559
負債合計	80,146	82,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,964	6,964
資本剰余金	10,206	10,206
利益剰余金	22,021	22,384
自己株式	△246	△463
株主資本合計	38,945	39,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	754	759
為替換算調整勘定	11,901	14,141
退職給付に係る調整累計額	△101	△85
その他の包括利益累計額合計	12,554	14,814
新株予約権	117	117
純資産合計	51,617	54,023
負債純資産合計	131,763	136,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	37,996	38,403
売上原価	34,968	35,376
売上総利益	3,027	3,027
販売費及び一般管理費	2,799	2,926
営業利益	227	101
営業外収益		
受取利息	27	42
受取配当金	24	21
為替差益	213	576
スクラップ売却益	48	113
その他	23	26
営業外収益合計	338	781
営業外費用		
支払利息	191	171
その他	17	18
営業外費用合計	208	189
経常利益	357	693
特別利益		
固定資産売却益	5	22
投資有価証券売却益	—	40
補助金収入	27	26
特別利益合計	33	90
特別損失		
固定資産除売却損	53	43
特別損失合計	53	43
税金等調整前四半期純利益	337	740
法人税、住民税及び事業税	261	169
法人税等調整額	△376	82
法人税等合計	△115	252
四半期純利益	452	488
親会社株主に帰属する四半期純利益	452	488

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	452	488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	4
為替換算調整勘定	1,130	2,239
退職給付に係る調整額	25	15
その他の包括利益合計	1,210	2,260
四半期包括利益	1,662	2,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,662	2,749
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月8日開催の取締役会において自己株式の取得(取得期間2024年2月19日～2024年8月31日)を決議し、当第1四半期連結累計期間においては自己株式216百万円(302,100株)の取得を実施いたしました。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

1. 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	245百万円	397百万円

※2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	25百万円	36百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,081百万円	2,821百万円

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	15,459	11,307	7,707	1,842	1,679	37,996
外部顧客への売上高	15,459	11,307	7,707	1,842	1,679	37,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	787	0	575	586	19	1,969
計	16,247	11,307	8,283	2,429	1,698	39,965
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	42	405	△617	55	174	59

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	59
セグメント間取引消去	167
四半期連結損益計算書の営業利益	227

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	14,053	13,053	8,710	1,699	887	38,403
外部顧客への売上高	14,053	13,053	8,710	1,699	887	38,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,563	—	461	795	8	2,829
計	15,616	13,053	9,171	2,495	896	41,232
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△299	298	252	15	19	287

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	287
セグメント間取引消去	△185
四半期連結損益計算書の営業利益	101

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。